

まかせて安心!! 電気保安のパートナー

お客さまのための

〈第86号〉

電気と管理

一般社団法人 東北電気管理技術者協会



電気事故の種類

電気設備や電気機器の故障や不備、整備不良などによって生じる電気事故には様々な状況があり、工事中などに起こる「ケーブル事故」、キュービクルに頭や手を入れて感電する「覗き見事故」、自家用電気工作物が原因で広範囲に停電を引き起こす「波及事故」などがあります。

ケーブル事故

- ・事業場内の木の伐採や側溝配管工事など掘削による、地中ケーブルの巻上の事故。電気埋設物には低圧・高圧ケーブルとあり、高圧側の事故は復旧に時間がかかります。



覗き見事故

- ・不用意にキュービクルを覗き見し、頭や手を入れて感電する。事故防止のため、キュービクルには必ず「覗き見禁止」の表示があり、あれば電気管理技術者に相談してください。

波及事故

- ・工場やビルなどの自家用電気工作物の整備不良が主たる原因で、広範囲に長時間停電を引き起こす事故のことをいいます。

電気機器の損壊など自社の損害だけでなく、近隣の工場や商店、一般家庭そして医療機関が停電し、人命に関わる社会的に大きな影響を及ぼしてしまいます。

電気機器が古かったり不良の場合は更新してゆきましょう。



一般社団法人 東北電気管理技術者協会



事故後の対応

事故発生

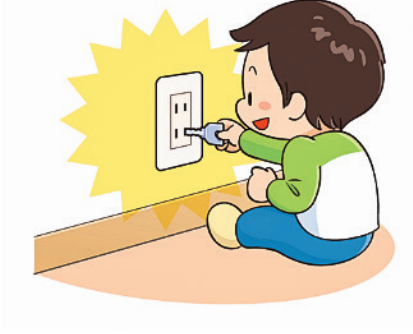
速報の報告

詳報の提出

報告業務がある電気事故の場合、事故発生後24時間以内に事業主が経済産業省電力安全課へ報告し、その後、30日以内に詳報を提出しなければなりません。

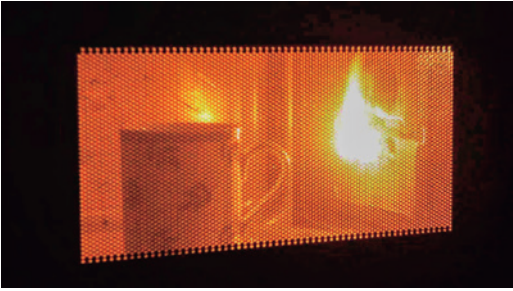


身近な電気事故



湿気の多い時期は漏電しやすくなります。
濡れた手などで触れると感電する場合があります。
子供が身近にある金属でコンセントに触れることで感電する場合がありますので注意が必要です。

イラスト 出典：こども安全メール from消費者庁「Vol.616コンセントやプラグでの感電に注意！」より



(写真) 電子レンジ庫内の汚れが発火する様子

庫内に飛び散った油やこぼれた食品かすなど、こまめに拭き取らず使用すると、電子レンジのマイクロ波が集中して炭化し、発煙・発火を起こす場合があります。

写真：独立行政法人製品評価技術基盤機構 製品安全センター「電子レンジ内の発火事故」ポスターより



私たちの身に及ぶ危険

10mA 耐えられないほどビリビリ感

時間の感電でも、流れる電流の大きさに

よっては「死」に至る場合があります。

20mA 筋肉の硬直が激しく、呼吸困難になり
継続すると死亡する。

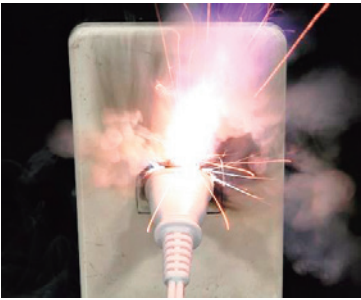
50mA 短時間でも相当危険状態になる。

100mA 致命的な障害を起こす。

上記の「身近な感電事故」の一例でも紹介した通り、普段当たり前のように使用している電子レンジやコンセントなどでも、埃が溜まっていないか、身近に感電に繋がりそうなものを置いていないか確認しましょう。



普段から気を付けること



- ・コンセント周りの埃はこまめに掃除する。
- ・濡れた手で不用意にコンセントに触れない。
- ・アース線の接続を確認する。
- ・分電盤に漏電ブレーカーが付いているか確認する。

写真：独立行政法人 製品評価技術基盤機構 製品安全センター「配線器具の事故」ポスターより